ベルギー・EU 動向　―2019 年 6 月―

ジェトロ・ブリュッセル事務所

1. ベルギーの政治動向

(1) ドイツ語共同体で新政権発足、オリファー・パーシュ首相が続投

5 月 26 日の総選挙の結果を受け、ベルギー東部のドイツ語共同体で新政権が発足した。同共同体では、ドイツ語共同体推進派（ProDG）と社会党（SP）、自由革新党（PFF）からなる前政権の連立政権が 1 議席を失ったものの、全 25 議席中 14 議席を確保。3 党による連立体制を継続し、オリファー・パーシュ首相が続投する。同首相はフィリップ国王陛下に謁見し、連邦政府のクリス・ペーテルス副首相兼雇用・経済・消費者保護相（当時）の同席のもと、就任の宣誓を行った。（2019 年 6 月 18 日）

(2) 連邦下院議会最年長のドワール議員、自身の議席から就任宣誓式を司会

5 月 26 日の総選挙で選ばれた連邦下院議会の議員 150 名が就任宣誓式に臨んだ。宣誓式では最年長の議員が議長となり、最年少の議員 2 名が副議長を務めるのが慣わしだ。しかし、フランス語系を中心に複数の議員が、最年少議員の 1 人で極右政党「フランダースの利益」所属のドリース・ヴァン・ランゲンホーヴェ議員の前での宣誓に拒否感を示し、同議員が議長席にいる以上は宣誓しないと表明する有力議員まで出現した。ランゲンホーヴェ議員は、白人至上主義や差別的な性格が問題視される青年団体「盾と友」のリーダーであり、人種差別とナチスによる大量虐殺の否定で有罪判決を受けていた。穏健リベラル政党 Open VLD に所属する議会最年長のパトリック・ドワール議員は宣誓式の混乱を避けるため、議長席には上らず、「ここが有権者が私に託した唯一の場所だ」として自身の議席から式を司会。「機知に富む対応」と高い評価を受けた。また、フランダース議会でも「フランダースの利益」の重鎮のフィリップ・ドウィンテル議員が宣誓式で議長席に上がるのを阻止するため、Open VLD 所属のヘルマン・ド・クロー議員が政界引退を 1 カ月遅らせて議長を務めた。（2019 年 6 月 20 日）

(3) エリザベート王女殿下、マチルド王妃殿下に同行し、初の海外公務

マチルド王妃殿下は UNICEF ベルギーのケニア・ミッションに参加、長女で第一位王位継承者のエリザベート王女殿下も初の海外公務として同行した。このミッションは、UNICEF が同国で実施する持続可能な開発に関するプログラムや、緊急事態への対策などを視察するもの。両殿下は、南スーダンとの国境に近いケニアで 2 番目の規模のカク

マ難民キャンプの教育施設や若い母親のための職業研修施設、首都ナイロビ近郊の青少年の保護施設、マサイ族のコミュニティなどを訪問した。（2019 年 6 月 25 日）

(4) 研究機関 BRIO、ブリュッセル首都圏地域における使用言語の調査結果を発表

ブリュッセルに関する調査や情報発信を行う研究機関 BRIO は、同首都圏地域における言語使用に関する調査結果を発表した。この調査は 2018 年に実施されたもので、2001 年と 2007 年、2013 年に続く 4 回目の調査となる。2,500 名のブリュッセル在住者が「良く話せる」・「とてもよく話せる」とした回答が最も多かった言語はフランス語で、英語、オランダ語、アラビア語、スペイン語が続いた。トップだったフランス語は、2001 年には「良く話せる」・「とてもよく話せる」の合計が 9 割以上だったが、2018 年には 9 ポイント縮小。また、オランダ語は、2001 年は 2 位だったが、第 2 回調査（2007 年）で英語に追い抜かれるなど縮小傾向が続き、今回調査では約 15%となった。この他、EU 域内の人の自由移動により、ルーマニア語やブルガリア語、ポーランド語の割合が拡大、トルコ語やベルベル語の割合は縮小した。（2019 年 6 月 26 日）

(5) ワロン地域、社会党とエコロが少数与党政権の樹立を模索、難航する連立交渉

5 月 26 日の総選挙でフランス語系の政党として第 1 党となった社会党（PS）は、ワロン地域の連立政権のパートナー候補として第 3 党の環境政党エコロ（Ecolo）との協議を開始。メディアは両党のイメージカラー（赤、緑）からこの連立をヒナゲシ（Coquelicot）と命名した。ただし、両党の議席の合計（35）は、ワロン地域議会（総議席数 75）の過半数に達していない。両党は、NGO など市民社会団体を政策プログラム作成に巻き込むことで正当性を確保し、少数連立政権を成立させたい意向だ。なお、両党も連立交渉に参加するブリュッセル首都圏地域ではそのような試みは行われていないことから、中道民主人道主義（cdH）とベルギー労働党（PTB）がワロン地域の政権に不参加の意向を示す中、中道右派の改革運動（MR）との連立を避けるための苦肉の策だとの見方もある。

一方、フランダースでは、第 1 党となった新フランダース連合（N-VA）が第 2 党の極右「フランダースの利益」との協議を継続。しかし、両党の議席を合計（58）してもフランダース議会（総議席数 124）の過半数を占めていない状況だ。極右との連立を避けたい第三極と目される政党は、N-VA との協議を開始できず、苛立ちの様子も見られる。また、連邦政府の連立組閣に向けた準備作業も難航しており、報告期限が数度にわたって延期された。（2019 年 6 月 27 日）

2. ベルギーの経済動向

(1)2018 年の対ベルギー対外直接投資による雇用創出件数は過去最高＝EY 調査

会計事務所大手 EY は、国・地域の対外直接投資（FDI）の対象としての魅力について分析した 2019 年版の「Attractive Surveys」を発表した。同調査によると、2018 年に開始されたベルギー向けの FDI のプロジェクト件数は 278 件となり、前年から 29%拡大。英国やフランス、ドイツ、オランダの FDI 案件が減少・伸び悩む中で、件数において欧州第 5 位の投資先となった。また、雇用創出件数も 7,363 人分と過去最高を記録した。一方、ベルギーで既に活動している企業からは、道路渋滞と道路インフラの質に対する不満とともに、イノベーション支援の促進と税負担の軽減、労働コストの抑制を要望する声も聞かれた。（2019 年 6 月 4 日）

(2) 2030 年までの 3,600 万トンの GHG 排出削減には多大な投資が必要＝FEB 委託報告書

ベルギー企業連盟（FEB）は、同団体が委託したベルギーの温室効果ガス（GHG）排出削減に関する報告書の概要を発表した。この報告書によると、現時点から 2030 年までに二酸化炭素（CO2）換算で 3,600 万トンの GHG 排出を削減することは可能だが、多大な投資が必要となるという。現行の施策で 1,200 万トンの排出削減が実現されるものの、残りの 2,400 万トンを削減するためには、CO2 の貯蔵（CCS）や再利用、電気自動車の普及促進、建物の省エネ改修の加速、省エネ機器の使用促進が必要となるとした。（2019 年 6 月 19 日）

(3) 税負担の軽減や租税回避対策、反保護主義が非正規移民対策にもなるとする研究

フランス語系ルーバン・カトリック大学（UCL）所属の経済学者が非正規移民と経済政策の関係に関する研究結果を公表した。同研究は、非正規移民は地下経済など非正規部門での労働を余儀なくされると想定。非正規部門が大きいほど潜在的な非正規移民を引き付ける要因となり、非正規移民が多いほど企業にとって非正規部門で活動するインセンティブが高まると分析した。そのため、企業の税負担の軽減や租税回避対策の強化など、非正規部門の縮小につながる政策が国境警備や送還など従来の施策とともに非正規移民の対策となり得る可能性があるとした。また、市場が開放されている場合、非正規移民の出身国と移民先の目的国で求められるスキルに差が生じるなど、地場の労働者を代替し難くなると分析。そのため、保護主義は非正規移民の拡大要因となり得ると指摘した。（2019 年 6 月 21 日）

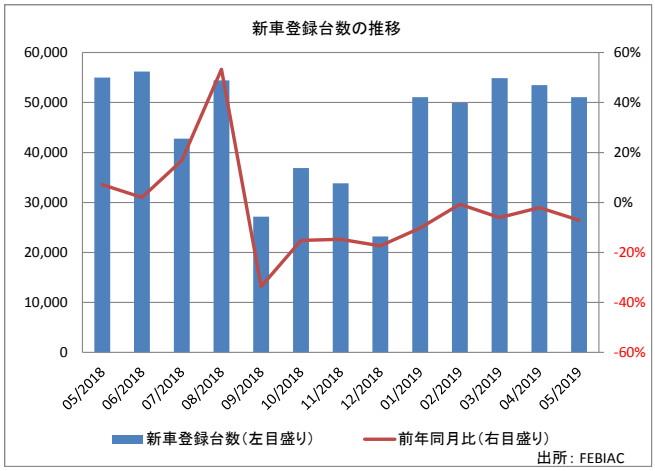
(4) Elia、近隣国の石炭火力発電所廃止を受けて、必要な代替電源の見通しを引き上げ

送電事業者エリア（ELIA）は、2020～2030 年を対象とする電力供給の十分性と柔軟性の要件に関して分析した報告書を発表した。ELIA は 2017 年に発表した報告書で、2025 年の国内の原子力発電所の廃止に対応するために 3.6 ギガワット（GW）の代替電源が必要だとしていた。今回の報告書では、ドイツなど周辺国での石炭火力発電所の廃止により、電力の輸入が困難になるとし、必要となる代替電源の見通しを 3.9GW に引き上げた。また、前回の報告書発表時から石炭火力発電所の廃止を前倒しした近隣国もあるため、容量メカニズムが導入されるまでの 2022～2025 年の冬季には 1GW を超えるさらなる電源が必要となると指摘。政府に対して、代替電源の整備が間に合うように、必要な投資が実施されるようにすることを優先事項と位置付けるよう呼びかけた。（2019 年 6 月 28 日）

＜月例経済指標＞

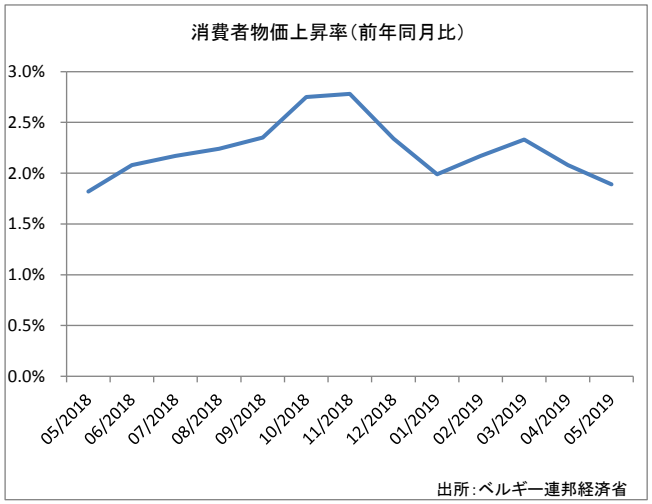
5 月の新車登録台数：前年同月比 7.12%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）は、5 月の乗用車の新車登録台数は 5 万 1,081 台（前年同月 7.12%減）だったと発表した。昨年 9 月の新排ガス基準 WLTP の導入に先立つ駆け込み需要の反動減と見られる。ブランド別では、フォルクスワーゲンのシェアが 10.03%と最も大きく、ルノー（シェア 8.63%）とプジョー（同 7.64%）が続いた。（2019 年 6 月 4 日）



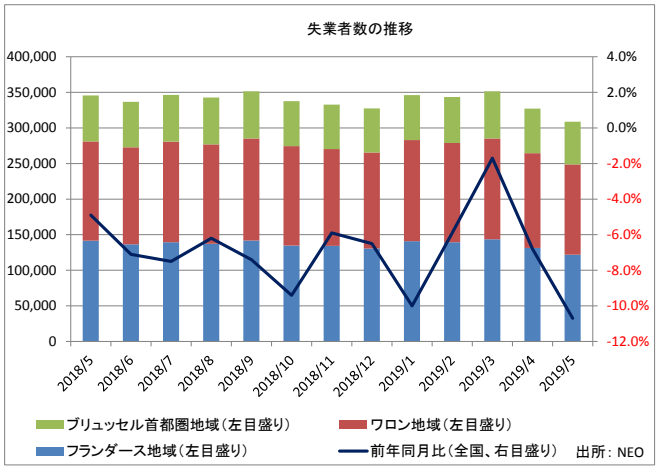
6 月のインフレ率：前年同月比 1.73%上昇

連邦経済省の発表によると、6 月の消費者物価指数は前年同月比で 1.73%上昇した。休暇村、ホテル宿泊料、パン・穀類が値上がり要因となった。燃料、果物、ボディケア用品、酒類、花きは押し下げ要因となった。（2019 年 6 月 27 日）



5 月の失業手当受給者数：前年同月比 10.7%減

国立雇用局（NEO）は、5 月の失業手当受給者数が 30 万 8,579 人（前年同月比 10.7%減）だったと発表した。地域別にみると、フランダース地域が 12 万 1,837 人（同 13.9%減）、ワロン地域が 12 万 6,754 人（同 9.2%減）、ブリュッセル首都圏地域が 5 万 9,988 人（同 7.1%減）だった。（2019 年 6 月 28 日）



3. ベルギーの産業動向

(1) STIB/MIVB、自動運転シャトルの試験運用を開始

ブリュッセル都市交通公社（STIB/MIVB）は、ブリュッセル首都圏地域東部のウォリュウェ公園で自動運転シャトルバスの試験運用を開始した。将来的に、大学のキャンパスや病院の敷地、公園など STIB/MIVB がサービス未展開の場所での運用を想定しているという。利用する車両は、座席 6 名と立ち乗り 6 名の最大 12 人乗りで、ウォリュウェ公園内の 1,800 メートルの路線を走行する。6 月 28 日～9 月 22 日までの毎週金・土・日曜日は無料で一般利用者にも開放される。（2019 年 6 月 5 日）

(2) バッテリー・セルの再利用を手掛けるスタートアップ企業が受賞

ブリュッセル首都圏地域政府が提供する、環境分野のスタートアップ企業の 6 カ月間のアクセラレーター・プログラム、「グリーンラボ・ブリュッセル（greenlab.brussels）」は、「2019 年グリーンラボ賞（Prix Greenlab 2019）」をリチウム・イオン電池のバッテリー・セルのリサイクルを手掛ける「スタンダード 18650」に授与した。ブリュッセル首都圏地域の公共メディア bx1 などが報じた。同社は、電動自転車や電動キックボードから廃棄されるリチウム・イオン電池に注目。これらの電池に含まれるバッテリー・セルの 20～30%はまだ使用可能であることから、これらを取り出して、携帯電話やタブレット向けのモバイル・バッテリーに再利用する。（2019 年 6 月 6 日）

(3) ベルギーの通信・メディア大手、GAFA に対抗するため「データ連合」結成を検討

通信大手 Proximus やテレネット Telenet、メディア大手 Rossel（日刊紙「Le Soir」などを発行）、Mediahuis（日刊紙「De Standaard」などを発行）、放送局の RTL や RTBL などを含む 9 社は、広告の精度を向上させるためにデータを共有する「ベルギー・データ連合（Belgian Data Alliance）」の結成を検討している。経済紙「De Tijd」（フラマン（オランダ）語）や「L'Echo」（フランス語）などが報じた。この連合に参加する企業が広告のターゲットに関するデータの共通のデータベースを構築することで、より精度の高い情報が得られるようにすることが狙いだ。この取組は、互恵的な関係をベースとし、取得できるデータは匿名化されており、消費者の一般的なプロフィールを共有するもので、消費者の特定を可能とするものではないという。オンライン広告で圧倒的なシェアを誇るグーグルやフェイスブックに対抗したい考えだ。（2019 年 6 月 13 日）

(4) インターネット利用者の約 8 割が e コマースを利用

小売り・サービス産業団体 COMEOS は、ベルギーの e コマース市場に関する報告書を発表した。2018 年にオンラインで商品を購入した人は、ベルギーのインターネット利用者の 79%となり、前年から 4%拡大した。さらに、注文の 52%が 6 時以降と、通常の営業時間の終了後に行われていた。品目別では、調査対象者の約 6 割がアパレル商品を購入しており、トップとなった。また、約 8 分の 1 の調査対象者がオンラインで食料品を購入しており、前年から 50%の拡大となった。この他、携帯電話やタブレット端末からの発注や、ソーシャル・ネットワーク・サービス上の公告が商品やサービス購入の動機となるケースの拡大などの特徴が見られた。（2019 年 6 月 14 日）

(5) ウェストフレーテレンのトラピスト・ビール、オンライン予約に移行

西フランダース州のウェストフレーテレン（Westvleteren）の聖シクストゥス修道院で醸造されるトラピスト・ビールがオンライン予約に移行した。同ビールをケースで購入するためには、従来では電話での事前予約が必要だったが、今後は専用サイトからの予約となる。事前予約は予め定められた日程でのみ受け付け、購入者の氏名や住所、生年月日などに加えて、受け取りの際に利用する自動車のナンバーなどが必要となる。フランス語公共放送 RTBF によると、6 月 26 日に行われた第 1 回の予約は 2 時間で終了したという。同修道院で醸造されるビールは評価が高く、愛好者も多い。しかし、「より多くの人に、適正な価格でこのビールを楽しむ機会を提供したい」という修道院のポリシーにより、卸販売を行っておらず、増産もしないため、入手困難なことで知られる。（2019 年 6 月 26 日）

4. EU の動向（～「ジェトロビジネス短信」より～）

(1) 欧州自動車部品産業、米中通商摩擦の中、EU 新体制の早期構築求める

（2019 年 6 月 6 日付）

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/65be3f464bed2f2d.html

(2) 欧州中央銀行、政策金利の備え置きを 2020 年上半期まで延長（2019 年 6 月 7 日付）

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/aaf6e9d976e2d7ef.html

(3) 欧州委、世界水準のスパコンの域内設置 8 拠点を内定（2019 年 6 月 10 日付）

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/d56f7c31b9b121d3.html

(4) 欧州消費者団体、イベントチケット再販売サイト利用に注意喚起

(2019 年 6 月 12 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/4fa86057c93c6d71.html

(5) EU の 4 月の失業率は横ばい、ユーロ圏では 0.1 ポイント改善 (2019 年 6 月 17 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/ab86b7bb5926945b.html

(6) EU 大手蒸留酒団体、蒸留酒のボトルへのエネルギー値表示を表明

(2019 年 6 月 18 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/69cc56e94d20a5d0.html

(7) 欧州商工会議所、次期 EU 政権に単一市場強化を要請 (2019 年 6 月 19 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/b6f3961f6f9d8a6b.html

(8) EU の第 1 四半期 GDP 成長率は前期比 0.5% (2019 年 6 月 19 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/5654a08d17a568ab.html

(9) 欧州工作機械産業団体、2019 年の需要見通し示す (2019 年 6 月 20 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/a26ffd629b4e52fe.html

(10) 欧州委、英国の EU 離脱日延期を踏まえた準備指針を公表 (2019 年 6 月 21 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/987e6a5b0a332558.html

(11) 日 EU・EPA 発効から 3 カ月間の対日輸入額は前年同期比 1 割増

(2019 年 6 月 21 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/9757853a2673b282.html

(12) 保護主義に危機感強める世界の商工会議所 (2019 年 6 月 21 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/92b0dfe5a661d279.html

(13) EU、英国新政権とのブレグジット協議継続を確認 (2019 年 6 月 24 日付)

https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/d9b84a74ae57a8f3.html

(14) **欧州委、中国の新たな貿易障壁が 257 億ユーロの EU 輸出に影響と試算**
（2019 年 6 月 25 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/05176824fca64394.html

(15) **EU ベトナム FTA、6 月 30 日に署名へ**（2019 年 6 月 26 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/e697a1d1eaa490d0.html

(16) **欧州自動車産業に厳しい市況見通し広がる**（2019 年 6 月 28 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/6d45b797a502be3a.html

(17) **EU とメルコスール、FTA 締結で実質的な合意**（2019 年 7 月 1 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/07/8caec9966b9a73c5.html

(18) **EU・メルコスール FTA の政治合意、欧州産業界から支持相次ぐ**（2019 年 7 月 1 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/07/89fe8e88f5fee666.html

(19) **EU との FTA、7 月 16 日のメルコスール首脳会議で締結の承認目指す**
（2019 年 7 月 1 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/07/e7c50c811bf0874a.html

(20) **ルールに基づく国際秩序を重視する EU**（2019 年 7 月 1 日付）
https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/07/506fd04472814284.html

＜調査レポートのご案内＞

■英国の EU 離脱に伴う各国の反響や今後の日本企業への影響

https://www.jetro.go.jp/world/europe/uk/referendum/

■日 EU 経済連携協定（EPA）

https://www.jetro.go.jp/world/europe/eu/epa/

『ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ』

日本人会商工委員会と日本貿易振興機構（ジェトロ）ブリュッセル事務所は、労務・法務、会計、政策動向、経済情勢など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。